

(4) 各種委員会

① 企画運営委員会

ア すこやか家庭教育相談事業全般の企画・運営並びに評価・反省を行う。

イ 企画運営委員

氏名	役職名	備考
西久保 禮 造	福島大学教育学部教授	◎○
関 口 はつ江	郡山女子大学短期大学部教授	○
松 崎 博 文	福島大学教育学部助教授	
遠 藤 正 俊	篤仁会富士病院医師	
渡 辺 俊 彦	福島女子短期大学教授	○
大 関 太 朗	福島テレビ報道制作局長	
遠 藤 久 江	県立会津短期大学教授	○
加 藤 一 夫	県立医科大学助教授	○
大 宮 勇 雄	福島大学教育学部助教授	○
片 岡 義 和	県教育庁社会教育課主幹	

◎印 委員長 ○印 すくすく通信委員を兼ねる。

3 家庭教育総合推進事業

(1) 実施期間 平成元年4月～2年3月

(2) 研究主題 「現代社会における家庭教育」  
～社会の変化と家庭のあり方～

(3) 事業内容

① 企画推進委員会

ア 総合的な観点から家庭教育上の諸問題についての研究・分析を行い、指導資料の作成や指導者研修会の指導等にあたる。

イ 企画推進委員

氏名	役職名	備考
小 野 直 廣	福島大学教育学部教授	◎
河 野 義 章	福島大学教育学部教授	
鹿 島 清	県教育センター教育相談部長	
斎 藤 元	県PTA連合会長	
松 崎 博 文	福島大学教育学部助教授	
星 野 仁 彦	県立医科大学講師	
佐 藤 利 郎	県教育庁義務教育課主幹	
樋 口 勝 也	桜の聖母短期大学教授	
山 崎 万 紀 子	臨床心理士	
片 岡 義 和	県教育庁社会教育課主幹	

◎印 委員長

② 家庭教育指導者研究協議会の開催

期 日	会 場	参加者
10月18日(水)	富岡町文化センター	211人
11月8日(水)	喜多方プラザ	240人

③ 家庭教育指導資料の作成・配布

ア 家庭教育上の課題や諸問題について資料としてまとめ、家庭教育事業の充実や地域における教育機能の活性化に資する。 作成部数 2,000部

④ 家庭教育電話相談の実施

ア 家庭教育電話相談(すくすくダイヤル)の開設

電話番号 0245-53-8222

開設日時 毎週月～金曜日 9:30～12:00

イ 電話相談委員

氏名	役職名	備考
大 宮 勇 雄	福島大学教育学部助教授	
河 野 義 章	福島大学教育学部教授	
松 崎 博 文	福島大学教育学部助教授	
渡 辺 俊 彦	福島女子短期大学教授	◎
樋 口 勝 也	桜の聖母短期大学教授	
新 家 淳 子	元県家庭教育セミナー委員	
成 田 由 美 子	臨床心理士	
山 川 和 二	元公立学校長	
山 崎 万 紀 子	臨床心理士	
渡 辺 晴 子	元公立学校教諭	

◎印 委員長

ウ 相談状況 相談件数 297件

エ 相談内容(多い順)

- 1位 家庭の人間関係
- 2位 健康発育関係
- 〃 性格行動関係
- 4位 育児保育関係
- 5位 その他

第6節 視聴覚教育

1 概 要

県民の心のふれあいと生きがいを求める生涯学習への意欲が高まり、各地で様々な学習活動が活発に行われている。

その学習要求は、量的に増大するばかりでなく、質的にも高度化してきている。このようなとき、学習効果を高め、興味深く学習活動を展開するための手段として、視聴覚教育の果たす役割は極めて大きい。

(1) 市町村視聴覚ライブラリーの整備充実

視聴覚教育推進の拠点としての市町村視聴覚ライブラリーが、視聴覚機材・教材の収集・保管と、その利用に供する事業のほかに、郷土に係わる視聴覚教材などの自主製作事業や、各種の研修事業等を行う視聴覚センターとしての働きを行うよう指導に当たった。

また、近隣の視聴覚ライブラリーは、相互に各種情報の交換を行い、視聴覚教材の相互貸借、研修の共同実施などを行うことに積極的に取り組むよう助言指導に努めた。

(2) 視聴覚教育指導者研修の充実

市町村教育委員会、視聴覚ライブラリーなどの関係機関による視聴覚機器操作講習会の実施を促進した。また学校教育および社会教育関係者を対象とした、視聴覚教育中堅指導者研修会の整備充実に努めた。

(3) 視聴覚教育関係団体との連携

県視聴覚ライブラリー連絡会との連絡を密にし、組織の